

第20回理事会 「決議の省略」 2021年5月13日議決

2020年度

第45期 事業報告書

〔 自 2020年4月 1日 〕
〔 至 2021年3月31日 〕

公益目的事業 1

高等学校における文芸教育振興のための助成

様々な分野で活躍する方々を全国の高等学校に講師として派遣し、成長過程にある高校生に読書や学ぶ喜びを伝え、未来の指針を考える契機となることを企図する。

第 55 回「高校生のための文化講演会」

決算 1,012 万円

予算 4,218 万円

従来は、講師を学校に派遣して活動を行ってきましたが、2020 年度は新型コロナウイルス感染症が全国に拡大したことから、すべて中止しました。中止決定前に学校選定が決まっていた高校 46 校には「集英社文庫 100 冊セット」「集英社辞典」を寄贈。また、講演時に毎回配布している冊子「読書への招待 2020」を各校に全校生徒分送付しました。

●実施概要

企画名	第 55 回 高校生のための文化講演会 全 76 講演中止
主催	公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会、各新聞社 37 社
後援	文部科学省、都道府県教育委員会、集英社 ほか
期間	前期:2020 年 5 月 21 日(木)～6 月 23 日(火) 後期:2020 年 9 月 1 日(火)～9 月 16 日(水)
講師	作家、評論家、大学教授など様々な分野で活躍する著名な方々 (奥泉光氏、村山由佳氏、島田雅彦氏、鴻巣友季子氏、鎌田實氏 他 計34名)
図書寄贈	集英社文庫 100 冊セット、集英社国語辞典 (中止決定前に学校選定が決まっていた高校 46 校)
配布物	読書への招待 2020 (中止決定前に学校選定が決まっていた高校 46 校)

公益目的事業 2

高等学校及び高等学校生徒を対象とする創作活動に対する顕彰、助成

「読書体験記」を全国の高校生を対象に募集、選考。特に心に残っている本、大切にしている本を取り上げ、どのような状況でどのように読んだか、どのような影響を受けたかを書いてもらい、読書が自らの人間形成にどれほど重要なものか気づいてもらうことを企図する。

第 40 回「全国高校生読書体験記コンクール」

決算 1,894 万円

予算 2,266 万円

文部科学省、全国都道府県教育長協議会、全国高等学校長協会、新聞社36社、集英社の後援で、下記のとおり告知、募集、選考を実施した。2021年1月に予定されていた表彰式は、新型コロナウイルス感染症が全国に拡大したことから中止とし、中央入賞者には発表冊子、賞状、楯、記念品等を発送して授与しました。

●実施概要

告知	2020年6月応募要項一式を全国の高校5,672校に送付
募集期間	2020年6月1日～9月30日
応募締切	2020年9月30日(校内予選で1校5編以内)
応募数	75,973編(全国47都道府県440校)
都道府県選考会	2020年10月1日～31日
中央選考会	2020年12月8日
発表冊子出来	2021年1月19日
当財団HP発表	発表冊子のPDF版を2021年1月22日に掲載
表彰式・懇親会	中止
中央入賞・優良・ 入選者への授与	発表冊子、賞状、盾、記念品等を2021年1月25日着で送付、授与
上記以外の授与	選外の学校へは発表冊子を1月26日以降着で順次発送

●選考方法

都道府県別選考会で入選作5編(優良賞1編・入選4編)を決定し、各都道府県の優良賞47編の中から、中央選考会において、中央入賞8編*を選出する。

※ 文部科学大臣賞1名、全国高等学校長協会賞2名、一ツ橋文芸教育振興会賞5名

●中央選考委員

(敬称略)

辻原 登(作家)、穂村 弘(歌人)、角田光代(作家)

長尾篤志(文部科学省初等中等教育局主任視学官)

林 達也(全国高等学校長協会 都立武蔵村山高校校長)

●賞

中央入賞8名	
文部科学大臣賞1名	賞状・楯・記念品*
全国高等学校長協会賞2名	賞状・楯・記念品*
一ツ橋文芸教育振興会賞5名	賞状・楯・記念品*
優良賞39名	賞状・記念品(ボールペン)
入選186名	賞状・記念品(ボールペン)

※ 図書カード(1万円)とボールペン

●学校賞

中央入賞者在学校	楯・「集英社文庫100冊セット」
優良賞入賞者在学校	「集英社文庫50冊セット」
入選者在学校	「集英社国語辞典」

●第40回 2020年度

「全国高校生読書体験記コンクール」中央入賞者一覧（敬称略）

文部科学大臣賞	宮城県加美農業高等学校二年	賀井 暁月 <small>か い あかつき</small>
全国高等学校長協会賞	千葉県 筑波大学附属聴覚特別支援学校三年	山崎 陽大 <small>やまざき はると</small>
全国高等学校長協会賞	兵庫県立神戸高等学校二年	森谷 鈴音 <small>もりたに すずね</small>
一ツ橋文芸教育振興会賞	岩手県立盛岡第三高等学校一年	佐藤 万葉 <small>さとう まよ</small>
一ツ橋文芸教育振興会賞	東京都 学習院女子高等科二年	石川 李津 <small>いしかわり つ</small>
一ツ橋文芸教育振興会賞	静岡県 浜松市立高等学校三年	横井 奈々 <small>よこい なな</small>
一ツ橋文芸教育振興会賞	鳥取県 青翔開智高等学校二年	戸田 ゆあ <small>とだ</small>
一ツ橋文芸教育振興会賞	香川県立高松高等学校二年	酒井 菜摘 <small>さかい なつみ</small>

公益目的事業3

本事業は、青少年の健全な育成に関する調査研究、実践活動を行っている団体及び個人を後援、助成する。

① 「中華人民共和国 高校生日本語作文コンクール」への助成 決算 200 万円
予算 300 万円

「一般財団法人日本児童教育振興財団」内「日本青少年研究所」の事業であり、中華人民共和国各地で日本語を学ぶ高校生たちが日本語で綴る作文を顕彰します。2020年度はコロナ禍のため生徒たちの安全面を考慮し、表彰式は8月にオンラインで実施。協議の結果、協賛金は100万円減額（200万円寄付）としました。選抜された高校生と交流するための日本訪問の時期は未定ですが、適時実施される予定です。

② 全国高等学校国語教育研究連合会への助成 決算 120 万円
予算 290 万円

全国高等学校国語教育連合会（全国連）傘下の地方組織が開催する高等学校の国語科教師の研究会（国語部会）からの要請に応え、講師を派遣。情報過多の現代にあって、国語教育の重要性が再認識されるなか、作家・有識者の言葉や考え方を直接聞く機会が求められています。その一助となることを目的に助成を行っています。2020年度はコロナ禍のため講演会は中止となりました。

③ 全国高等学校文化連盟への協賛・助成 決算 332 万円
予算 462 万円

公益社団法人全国高等学校文化連盟（全国高文連）による、中央・地方の高等学校文芸コンクールを中心に、図書専門部門、文芸専門部会などの読書推進活動への助成です。講師派遣に加え、2007年度より全国高等学校文芸コンクールに協賛、文芸部誌部門の優秀賞に「一ツ橋文芸教育振興会賞」として賞状と副賞（集英社文庫50冊セット）を贈呈しています。2020年度はコロナ禍のため、全国高等学校文化連盟研究大会（新潟）が中止となったため、協議の結果、協賛金5万円は冊子制作費に

充当することとなりました。また「一ツ橋文芸教育振興会賞」の賞状と副賞は、送付をもって授与としました。文学、学術、思想、芸術など様々なジャンルから良質な議論や情報を取り上げ紹介する新聞「週刊読書人」は継続して買い上げ、全国164校の高等学校国語担当主任教諭に送付しました。

●助成等概要

後援・助成先	内容	助成額(円)
第32回「全国高等学校文化連盟研究大会(新潟)」	冊子制作費※1	50,000
第35回「全国高等学校文芸コンクール」 (最優秀賞並びに文部科学大臣賞と文芸誌部門の一ツ橋文芸教育振興会賞)	集英社文庫50冊×2贈呈	59,998
週刊読書人	全国高校の164校の 国語担当主任教諭	2,000,000

※1 新型コロナウイルス感染拡大の防止のため大会中止となったため、協議の結果、冊子制作費に充当した。

④ 「ノベル大賞」への助成 **決算 200万円**
予算 200万円

新人作家の育成を目的とした「ノベル大賞」は、株式会社集英社が主催する公募文学賞で、若手作家の登龍門のひとつとなっています。この文学賞は、氷室冴子氏、唯川恵氏、山本文緒氏、谷瑞恵氏、須賀しのぶ氏ら第一線で活躍する作家を輩出してきました。2020年度の応募作品数は1,325編、全応募作の中から数次にわたる選考が行われ、大賞該当作なし、準大賞1編が決定しました。

●選考結果

- 大賞 該当作なし
- 準大賞 『ダンシング・プリズナー』遊川ユウ (田村徹芯改め)
- 佳作 該当作なし
- 応募作 1,325編

●選考委員 (五十音順)

桑原水菜(作家)、今野緒雪(作家)、三浦しをん(作家)、吉田玲子(作家)

●賞

- 大賞：正賞の楯、副賞 300万円
- 準大賞：正賞の楯、副賞 100万円
- 佳作：正賞の楯、副賞 50万円

⑤ 「聞き書き甲子園」への助成 **決算 0円**
予算 50万円

「聞き書き甲子園」は、農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人共存の森ネットワークなどが主催。全国の高校生80人が森、海、川の名人80人と1対1で聞き書き取材をしてレポートを作成させる事業に助成を行っていましたが、コロナ禍で聞き書き取材の活動が1年延期されたため、協議の結果、2020年度に予算計上していた50万の助成は中止としました。

⑥ 災害罹災校への支援・助成

決算 130 万円

予算 50 万円

8月に「熊本豪雨災害救援金」30万を、熊本日新聞を通して寄付。また2021年2月には、病気や災害、自死などで親を亡くしたり、親が重度障害で働けなかったりする子どもたちを支える一般財団法人あしなが育英会に、コロナ禍のなか学習や生活に困難が生じている生徒たちを支援するため、100万円を寄付しました。

附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条 第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

2021年4月 公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会